



みなさん、こんにちは。

業務紹介第19弾として公園分野の業務内容を、都市局公園緑地景観課島崎係長（入省6年目）より語ってもらいました！



都市局公園緑地景観課 島崎係長（入省6年目）

1. 公園分野の業務の国土省における役割を教えてください。

ひとくちに公園と言っても思い浮かべるものは人それぞれではないでしょうか。「都市公園」は国土交通省が所管する都市公園法に基づき設置されています。上野公園など大規模なものから、住宅街にあり、ブランコ1つと少しの広場からなる小規模なものまで、様々な種類があります。一方で、知床国立公園など「自然公園」は環境省所管の自然公園法に基づき定められたものです。

公園分野の職員が多く勤務する都市局は、国土の中でも主に人々の生活圏を対象に、様々な施策を展開しています。この中での公園分野の職員の役割は、都市公園の整備や民間の緑地の保全など、まちなかで「みどり」をつくり、守っていくことです。私は野鳥観察が趣味で、人と自然の接点となるまちの「みどり」を増やしたいと思い、国土交通省に入省したので、非常にやりがいを感じています。



多くの人の憩いの場になる公園（左）、都市公園の野鳥（右）



2. 現在の目玉施策を教えてください。

都市公園などのまちの「みどり」には人々の心に安らぎを与え、防災に寄与し、生物の生息の場になるとともに、気候の緩和にも寄与するなど、たくさんの機能があります。こうした「みどり」が持つ多くの機能を活かして、地域が抱える課題を解決していくという考え方を「グリーンインフラ」と言います。

グリーンインフラは分野横断的に取組むべき施策ですが、公園分野においても、行政だけでなく民間も含め多様な主体が連携し、グリーンインフラを活用する取組に対して、予算面、技術面で支援を行っています。



まちなかに創出されたみどり（左）、防災や憩いの場としての機能を持つ調整池（右）

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

公園分野の職員が就く職務は前述の「みどり」を増やすことだけではなく、地域の個性を活かした景観・歴史まちづくり、離島の振興、国土交通行政全体における環境政策など様々です。また、環境省や復興庁、地方公共団体に出向している職員もいます。

私の担当業務は地方公共団体が行う、都市公園や緑地の整備、グリーンインフラの活用等を支援することです。具体的に言うと、社会資本整備総合交付金という地方公共団体向けの支援策について、地方公共団体からの相談への対応、より効果的に公園などのみどりが活用され、国民のためになるにはどのような支援策が必要かといった検討、それに伴う関係省庁や地方公共団体をはじめとした関係者との調整などを日々行っています。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

国家公務員の仕事の特徴は、日本全国の現場とのやりとりを通して、国全体の取組みの推進に寄与できることだと思います。

例を挙げると、離島振興課という部署で、児童・生徒が離島にある学校に一定期間転校する「離島留学」という取組みを支援していた際のことですが、それぞれの島が別々に情報発信するだけだと受け手は分かりづらいだろうと考え、全国で行われている離島留学の対象年齢や募集期間などをまとめて公表する取組みを行いました。そうしたところ、お子さんの留学先を探していた全国の親御さんから問合せをいただいたほか、島の担当者からも離島留学に興味を持った方からの問合せが増えたと感謝されました。

このように、全国を取組みを俯瞰し、全体像の情報発信、良い事例の他地域への導入などを



通して、国全体の取組を推進することで人のためになるのが国家公務員という仕事のやりがいだと感じます。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

希望者の中には仕事についていけるか、専門が違うけど大丈夫かなどという点から国土交通省に入省した後のことを不安に思う方も多くいるのではないかと思います。実際、業務の分野は多岐にわたり、入省当初や異動の際には分からないことが多くあります。そのため、少なくとも若手のうちは、仕事をしながら学んでいくことが誰にとっても必要になります。しかし、必要な知識が多岐にわたるがゆえに、入省前に国土交通省に関わる分野について学んだか否かは、実際の職務をしていく上でそこまで大きな影響を及ぼさないと感じています。

現に、造園職として入省する職員でも、大学で造園を学んでいない方は多くいます。（私は生態学が専門でした。）そのため、国土交通施策を通して、国民の方々の豊かな生活に貢献したいという考えをお持ちの方は、たとえ専門ではなかったり、知識に自信がなくても、ぜひ国土交通省を目指してほしいと思います。

一方で、どんな職務についても基礎となるのが自分の考えを人に説明する能力やパソコン（Excel, PowerPoint など）を扱う能力だと思います。就職活動は非常に大変だと思いますが、卒業論文の作成や発表、アルバイトなどに励んだ経験が就職後に役立つこともあるので、残りの大学生活が実りあるものとなるよう頑張ってください。